

第51回 野菜・花き種苗改善審査会 ‘秋まきホウレンソウ’の部が開催されました

平成21年12月8日(火)、東京都農林総合研究センターを会場にして、東京都種苗研究会主催第51回野菜・花き種苗改善審査会‘秋まきホウレンソウ’の部が開催されました。

1 出品点数 19点(内、参考品種5点)

2 栽培概要

(1)供試圃場 東京都農林総合研究センター

洪積土圃場(表層腐植質黒ボク土)

前作スイートコーン

(2)播種 2009年10月19日 1穴6粒播き

ベッド幅70cm, 通路70cm, 黒マルチ9415を使用

(19,048穴/10a)

(3)定植 11月9日 1穴4本

(4)区制 1区6.4㎡ 2連制

(5)被覆 播種直後から11月9日まで防虫ネット(目合い0.7mm)でトンネル被覆

11月9日から12月1日までベタロン(DT-650)でトンネル被覆

(6)施肥 苦土石灰 170kg/10a, 堆肥 2t/10a

N-P₂O₅-K₂Oを成分量で各16-18-16kg/10aを全量元肥施用(10月14日)

(7)病害虫防除 東京都病害虫防除指針に従い下記の薬剤を施用

8月18日 ガスタード微粒剤 30kg/10a(9月28日被覆除去)

11月9日 アグロスリン水和剤 2,000倍希釈

スピノエース顆粒水和剤 5,000倍希釈

3. 生育概要

(1)出芽始めは10月24日, 出芽揃いは10月27日であった。出芽はいずれの品種も良好で、全品種とも特に問題はなかった。

(2)播種日の前後は降雨が少なく圃場が乾燥したが、10月下旬以降に降雨が適度にあり、降水量は生育期間を通じて平年より多かった。日照時間は、11月中旬で少なかった以外、ほぼ平年並みであった。気温は、11月中旬まで平年と比べ最高気温が高く、最低気温が低かった。11月下旬以降は最低気温も平年を上回り、平均気温は生育期間を通じて平年を0.2~1.6℃上回った。

(3)生育は順調に進み、特に生育後半で急速に進んだ。収穫期に達した品種があるのを確認し、12月1日にトンネル被覆を除去した。

(4)病害については、発芽直後に一部に苗立ち枯れ病の発生がみられたが、その後拡大に至らなかった。害虫についてはスリップスに被害が認められ、薬剤散布により防除した。

(5)11月30日から収穫期に達した品種があり、審査日(12月8日)までに19品種中8品種が達している。播種から本審査日までの生育日数は50日である。



5 審査結果

都農業振興事務所，改良普及センター，生産者団体，種苗会から35名が参加し，公正かつ厳正に立毛100点および収穫物300点の配点による審査会を実施した。

入賞をはたしたのは，以下の通りである。

等級	品 種 名	出 品 社
I	AR-241	朝日工業株式会社
II	タキイ交配 No.1152	タキイ種苗株式会社
III	カネコ交配 ハンター	カネコ種苗株式会社
III	オハイオ	株式会社武蔵野種苗園



I 等 AR-241



II 等 タキイ交配 No.1152



III 等 カネコ交配 ハンター



III 等 オハイオ